

授業科目名		プレゼンテーションスキルズⅡ		担当教員	高瀬 文広		
開講年次		3 年後期	セメスター	6	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択		選択	授業形態	演習	使用教室		
授業の目的		保健医療専門家として、他分野の専門家やステーク・ホルダー全般の理解と信頼を得られる発表・説明のあり方に関する理解とそれを行う技能を獲得する。					
到達目標		1. 主張や情報を、相手と目的に応じて適切な言語と十分な資料を使用して発表することができる：具体的には、ある課題に対する対処法や解決法の情報を収集して、妥当性と関連性のあるものを選択する、情報を利用しつつ自分の見解をまとめる、受け手の理解を最大化するような発信の様態を考案する、発信する、という一連の活動を最大限に行うことができる。 2. 他者の発信に対し、有意味な反応をすることができる（批評を行うことと、批評を受け入れ、改善に結びつけることができる）。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ		この科目は〈リベラルアーツ・専門基礎科目〉であり、CP の「人間」「環境」「健康」「国際」の 4 つの主要概念の「人間」の部分にあたり、保健医療専門家として DP に掲げられている問題解決力と自己教育力を本科目を学修することで修得することを望む。また本科目は理解と信頼を得られる受信と発信のあり方の理解とそれを行う技能を獲得する科目として位置づけられています。					
ディプロマポリシーとの関連		人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
			○		◎		
授業計画（受講者数等によって、一部、変更することがある）							
回	授業内容		授業方法	学修課題（予習・復習）		取組時間	担当者
1	プレゼンテーションの目的と方法、コミュニケーションのメカニズムおよび進行予定の確定		講義	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟①の担当者は個人発表準備		90 分	高瀬
(復習) コミュニケーションのメカニズムを説明できるようにする				30 分			
2	PDCA サイクルとほうれんそうを使用した小プレゼンテーション①とその批評		演習 (AL・発表)	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟②の担当者は個人発表準備；①担当者は内省と分析		90 分	高瀬
(復習) PDCA サイクルとほうれん草について、説明できるようにする				30 分			
3	ブレインストーミングを使用した小プレゼンテーション②とその批評		演習 (AL・発表)	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟③の担当者は個人発表準備；②担当者は内省と分析		90 分	高瀬
(復習) ブレインストーミングについて説明できるようにする				30 分			
4	ディベートを使用した小プレゼンテーション③とその批評		演習 (AL・発表)	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟④の担当者は個人発表準備；③担当者は内省と分析		90 分	高瀬
(復習) ディベート理論について説明できるようにする				30 分			

5	ディベートを使用した小プレゼンテーション④とその批評	演習 (AL・発表)	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟⑤の担当者は個人発表準備；④担当者は内省と分析	90 分	高瀬
			(復習) ディベートの仕方について説明できるようにする	30 分	
6	文化人類学の問題を使用した小プレゼンテーション⑤その批評	演習 (AL・発表)	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟⑥の担当者は個人発表準備；⑤担当者は内省と分析	90 分	高瀬
			(復習) 文化人類学の問題について確認する	30 分	
7	BAFABAFA を使用した小プレゼンテーション⑥その批評	演習 (AL・発表)	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟⑦の担当者は個人発表準備；⑥担当者は内省と分析	90 分	高瀬
			(復習) BAFABAFA について説明できるようにする	30 分	
8	フィードバック： 本科目によって学修したコミュニケーションに関する理論と実践方法について、フィードバックする	演習 (発表)	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟⑧の担当者は個人発表準備；⑦担当者は内省と分析	各 60 分	高瀬
			(復習) コミュニケーションに関する理論と実践方法の確認		
先行履修科目					
テキスト		必要に応じてプリントを配布する			
参考文献		高瀬文広：日本語コミュニケーションⅠ．ぎょうせい，2003. 早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター：体験の言語化実践ガイドブック 成文堂，2018.			
評価方法		授業への参加度 30%、プレゼンテーションの完成度 40%、グループ発表への貢献度 30%			
メッセージ		本コースでは、感じること、考えること、他者にそれを話すこと、他者と話し合うこと、複合的な概念を組み立てること、不特定多数の他者にわかるように話すこと、書かれたもの・話されたことを批評すること、他者から学ぶことを学びます。			